

経済・金融
フラッシュ

雇用関連統計 24 年 10 月－女性の雇用は正規化を伴いながら拡大が続く

経済研究部 経済調査部長 斎藤 太郎

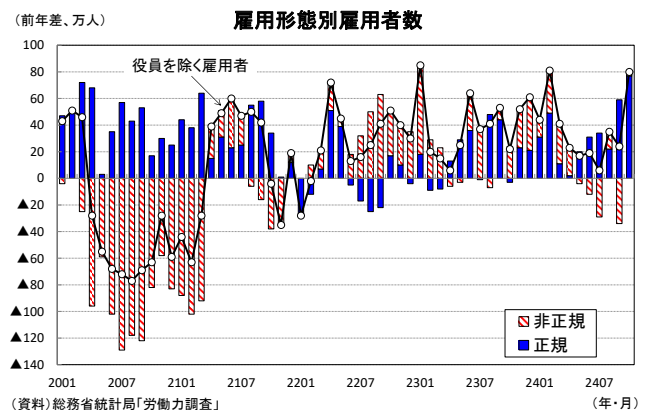
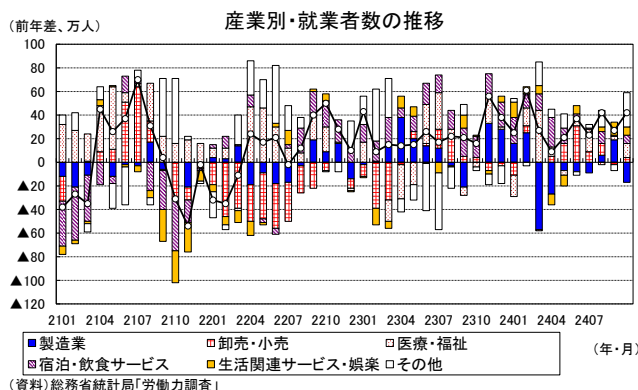
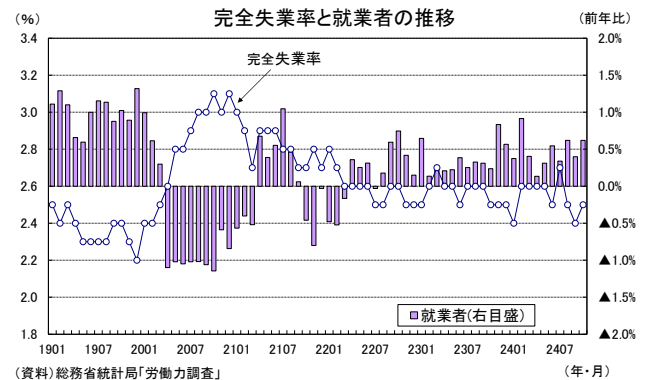
TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

1. 失業率は前月から 0.1 ポイント上昇の 2.5%

総務省が 11 月 29 日に公表した労働力調査によると、24 年 10 月の完全失業率は前月から 0.1 ポイント上昇の 2.5%（QUICK 集計・事前予想：2.5%、当社予想は 2.4%）となった。

労働力人口が前月から 18 万人の増加となる中、就業者が前月から 16 万人増加し、失業者は前月から 3 万人増加の 171 万人（いずれも季節調整値）となった。失業率は上昇したが、労働市場への参入が進むもとで就業者が増加しており、内容は悪くない。

就業者数は前年差 42 万人増（9 月：同 27 万人増）と 27 ヶ月連続で増加し、前月から増加幅が拡大した。男女別には、女性は前年差 46 万人増と 32 ヶ月連続で増加したが、男性が前年差 4 万人減と 2 ヶ月連続で減少した。女性の就業者数（季節調整値）は前月から 5 万人増の 3099 万人となり、3 ヶ月連続で過去最高を更新した。

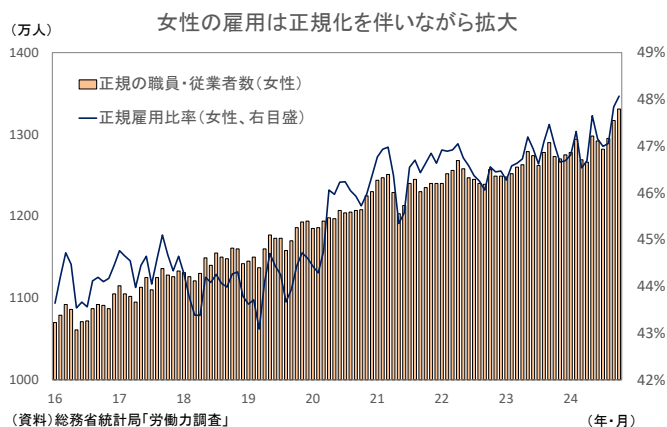


産業別には、製造業が前年差▲17 万人減（9 月：同 19 万人増）が 3 ヶ月ぶりに減少したが、宿泊・飲食サービス業（9 月：前年差 1 万人増→10 月：同 7 万人増）と 28 ヶ月連続で増加したほか、生活関連サービス・娯楽業（9 月：前年差 11 万人増→10 月：同 7 万人増）、卸売・小売業（9 月：

前年差 2 万人減→10 月：同 4 万人増)、医療・福祉 (9 月：前年差 3 万人増→10 月：同 12 万人増)が増加した。

雇用者数(役員を除く)は前年に比べ 80 万人増(9 月：同 24 万人増)と 32 ヶ月連続で増加した。雇用形態別にみると、正規の職員・従業員数が前年差 77 万人増(9 月：59 万人増)と 12 ヶ月連続で増加、非正規の職員・従業員数が前年差 4 万人増(9 月：同 34 万人減)と 2 ヶ月ぶりに増加した。

季節調整値では、女性の正規の職員・従業員数が 1331 万人(前月差 14 万人)と過去最高を更新し、正規雇用比率(役員を除く雇用者数に占める正規の職員・従業員数の割合)は 48.1%と前月から 0.3 ポイント上昇した。高齢化の影響で男性の雇用は伸び悩んでいるが、女性の雇用は正規化を伴いながら順調に拡大している。

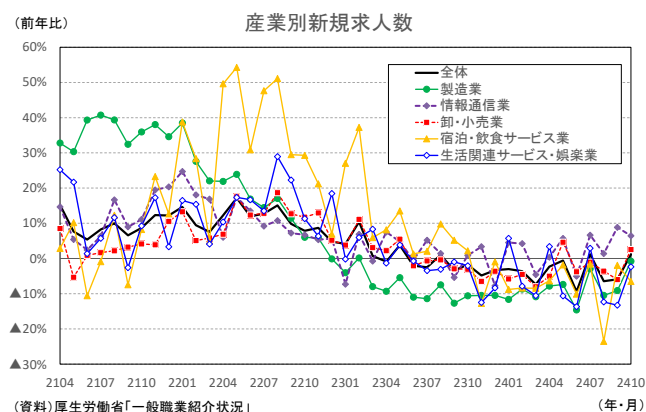
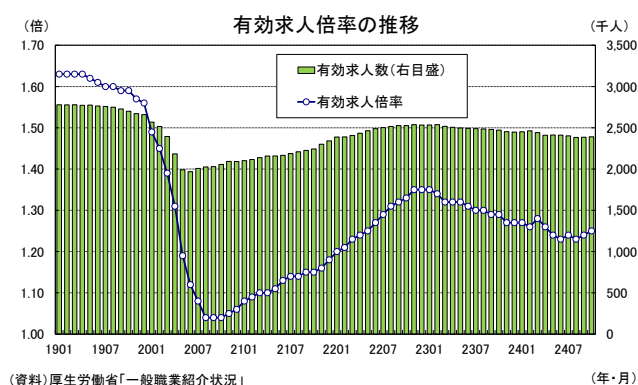


2. 有効求人倍率は 2 ヶ月連続で上昇

厚生労働省が 11 月 29 日に公表した一般職業紹介状況によると、24 年 10 月の有効求人倍率は前月から 0.01 ポイント上昇の 1.25 倍(QUICK 集計・事前予想：1.24 倍、当社予想は 1.23 倍)となった。有効求人数が前月比 0.2%と 2 ヶ月連続で増加する一方、有効求職者数が同▲0.7%と 4 ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率の先行指標である新規求人倍率は前月から 0.02 ポイント上昇の 2.24 倍となった。新規求人数は前月比▲1.5%の減少となったが、新規求職申込件数が同▲2.2%とそれを上回る減少となったことが新規求人倍率の上昇につながった。

新規求人数(原数値)は前年比 1.2%(9 月：同▲5.9%)と 3 ヶ月ぶりに増加した。産業別には、情報通信業(9 月：前年比 8.9%→10 月：同 6.4%)が 4 ヶ月連続で増加し、建設業(9 月：前年比▲7.4%→10 月：同▲0.2%)、製造業(9 月：前年比▲9.1%→10 月同▲0.8%)、生活関連サービス・娯楽業(9 月：前年比▲13.3%→10 月：同▲2.4%)の減少幅が前月から大きく縮小した。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性ねと安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。